

毎月第三日曜日

楽しい話し合い・相談・情報交換ができる

オレンジカフェ静岡

4月19日 午後2時～4時 (参加費100円)

4月の
ミニ講話

『認知症の主人と歩んできたこと』

増田暁子さん

認知症のある人の奥さん

石川みち子さん

増田さん夫婦の身近な支援者



石川みち子さん 増田暁子さん

主人は五年前に認知症と診断されました。現在、富士市の特別養護老人ホームに入所しています。症状の進行がきわめて早く、次々とおこるトラブルに対応してきました。頼りになったのは、周りの身近な方々でした。発症後に主人が就職した認知症の人の仕事場「木工房いつでもゆめを」や富士宮市の認知症カフェで、多くの認知症の人とご家族と接することで、認知症のことをよく知りました。認知症専門医・看護師・地域包括支援センター職員、ケアマネジャーさんはもとより、仲間に色々アドバイスをもらいました。特に身近な友人には愚痴を聞いてもらったり、一緒に遊びに行ったり、

り、ストレスを発散できました。車の運転のこと、施設入所のことなど決断するのは私自身ですが、多くの方の意見や状況を知ること、選択肢が増えたのがよかったです。医療同様、セカンドオピニオンは大切です。特に、運転免許返納の時はちよつとした工夫を教わったことで、主人をあまり怒らせたり混乱させずにすみました。

「主人に怒っても何もいいことはない」と思えるようになり、場合によっては主人の前で一寸した嘘も交えながら、「女優」を演じました。あまりにもあわただしく時間が過ぎてしまい、いやなことは比較的覚えてないです。

今は、認知症の人・ご家族に少しでも役立つように、また自分自身が周りの人とつながって楽しめるように、あちこちの認知症カフェに参加し、カフェの運営の手伝いもしています。

§ 認知症を語り合う会の報告 §

☆最近忘れ物が多くて心配だ。耳も聞こえにくくなっている。聴力が落ちると認知症になりやすい、あるいは認知症が進みやすいと言われています。耳鼻科医に診てもらって、必要があれば、補聴器を使用すると、生活が前向きになるでしょう。

☆週三回デイサービスに通っているが、そこでもあまり会話はしない。週一回息子が来て買い物をしてくれる。それ以外はほとんど話をする機会がない。

好きなぬいぐるみなどに話しかけたりするのもよい。最近話しかけると応答してくれる会話のできる人形や、おしゃべりロボットなどがいろいろ販売されている。そうしたものを話し相手にするのはどうでしょうか？

☆最近スーパーで買い物した袋を忘れてきたことがあって、心配になって、かかりつけ医に診てもらったら、「認知症一歩手前」と言われた。

認知症一歩手前の人、軽度認知障害(MCI)、アルツハイマー型認知症の初期段階に適応の新薬が二年前から治療に用いられていて、良い成果も報告されています。かかりつけ医に新薬投与の可能性について相談してみてもいいでしょうか？

☆母がガスコンロを消し忘れたりすることがあって心配だ。でも炊事・調理をやめさせたりはしないで、見守りながら、今やれることをやれるように努めている。

温かく見守りながら、今できることを、できるだけ長く続けてもらった方がよいですね。

今後のオレンジカフェ予定

令和8年5月17日(日)

「認知症医療の進歩に伴う

相談支援の近況について」

堀 友輔さん

静岡てんかん・神経医療センター
静岡市認知症疾患医療センター
医療ソーシャルワーカー



令和8年6月21日(日)

石川佳代子さん

静岡県防災士
日本防災士機構防災士

令和8年7月19日(日)

※現在調整中です。

カフェのプログラム

一、ミニ講話 増田暁子さん

石川みち子さん

質疑応答

二、声のワークシヨップ 上藤美紀代さん

認知症を語り合う会 二階会議室

(二、は)ご希望のところに参加ください

個別相談

今月は城東ケアプランセンターから、増田實さん(主任介護支援専門員・介護福祉士・柔道整復師)が城東ハピスポにいらして、相談のつてくださいます。

会場の写真



会場 静岡市葵区城東町 34-14

城東コミュニティプラザ
HapiSpo (ハピスポデイ和かな)

会場提供 社会福祉法人静和会

共催

NPO 法人ヒューマン・ケア支援機構

社会福祉法人静和会

連絡先 ☎ 090-8731-7647 (岩崎)

✉ shizuoka.orangecafe@gmail.com

※駐車場あります

